

揖保川流域委員会現地視察時の説明

馬路川排水機場

(バス車内での説明：馬路川排水機場付近)

河川管理者 右の後ろの方に馬路川の排水機場がございます。排水能力5トンのポンプを2基設置しております。昭和63年に完成しております。この地域ですが、資料の48ページを見ていただきますと分かりますが、上流に馬路川という河川がございます。この図のブルーのところは流域でございますが、非常に土地が低いところでございます。昔から内水被害に悩まされてきた地域でございます。洪水の時に揖保川本川の水位が上がるものですから、この馬路川から流れてくる水が揖保川のほうに流れなくなってしまいます。そのためにこのポンプを設置したということでございます。この馬路川を改修して河積の拡大を行ったわけですが、それに併せてこの排水機場を設置したということでございます。49ページには、昭和51年の集中豪雨の時のこの地域の浸水の状況が写真でございますので、併せてご覧下さい。